

2013 年堺市長選挙と教育政策

北川 邦一

13 年 9 月 29 日、堺市長選挙が執行された¹。無所属現職の竹山修身^{たけやまおさみ}（63 歳）と地域政党「大阪維新の会」（大阪維新。橋下徹代表）の元堺市会議員西林^{にしばやし}克敏^{かつとし}（43 歳）が争い、竹山得票 198,431（得票率 58.5%）、西林得票 140,569（得票率 41.5%）で竹山が再選された²。有権者 675,334 人の内 342,341 人、50.69%という投票率は、09 年 9 月 27 日執行の前回堺市長選挙（前回市長選）の 43.9%及び 13 年 10 月 27 日執行の宮城県、神戸、川崎、長野、山口各市の首長選挙と比べて極めて多い³。西林の敗北は、11 年大阪府知事・大阪市長ダブル選挙以後、府下自治体選で連戦連勝だった大阪維新とその「大阪都構想」（都構想）を弱体化させ、国政政党日本維新の会（日本維新）⁴の退潮を加速した。13 年堺市長選の最大の争点は都構想だったが、各陣営が掲げた教育政策も少なからず影響した。本稿は、政策全般は極力制限し、その内の教育政策の最大限の紹介に努める。

（一）竹山、西林両陣営及びその他の市政策全般

（1）竹山陣営

竹山は前回市長選から自らを「堺 21 世紀フェニックス都市を創造する会」所属としていた⁵。「竹山おさみ連合後援会」⁶も作られたが、これは会報等は発行せず会員には、上の「堺 21 世紀…会」の会報を配布してきた⁷。同会報第 13 号は、竹山の選挙公約「堺ビジョン 1・3・1 ～竹山おさみ・マニフェスト～」（竹山 vision）⁸を掲載し、竹山後援会のホームページ（HP）もこれを載せた。又、竹山支援の組織として「堺はひとつ！市民の会」が作られた⁹。その HP は、会長：堺市自治連合協議会会長 静又三、発起呼びかけ人：川淵三郎（兼：名誉会長）三国丘高校 OB、前堺市博物館長 角山 榮ほか、多数の自治会長を含む発起人 72 氏を公表し、市民運動を展開した¹⁰。政党では、自民党大阪府連は竹山の「推薦」を求めたが、自民党党本部はより弱い「支持」とした。民主党は推薦、共産党と社民党大阪府連は自主的支援、公明党は自主投票、みんなの党は「中立」とした。堺市会では、民主党市会議員を含む会派「ソレイユ堺」が早く竹山支援を決めた¹¹。竹山の選挙公約を堺選管発行「平成 25 年 9 月 27 日

執行堺市長選挙選挙公報」から示すと、概ね、次の通りである。

堺市長候補 竹山おさみ 現職

堺はひとつ！堺を無くすな！

堺ビジョン 1・3・1 :竹山おさみ・マニフェスト <http://takeyama-osami.jp>

- 1 堺の「自治」を守れ!STOP!大阪都構想
- 3 堺・3つの挑戦～市民とともに取り組む3つのプロジェクト
 - ①子育てのまち堺 ～命のつながりへの挑戦!
 - ②歴史文化のまち堺～魅力創造への挑戦!
 - ③匠の技が生きるまち堺 ～環境都市への挑戦!
- 1 市民が安心、元気なまち堺

全国施政令市トップ3 健全財政の堺市

(大阪府 橋下知事時代も借金増! 5.8兆円<橋下知事就任前>→借金6.3兆円)
+ (大阪市 バブルの負の遺産も手つかずの借金4.9兆円)

堺市の黒字が借金の穴埋めに… それでも一緒になりますか?

大阪都構想では、大阪府・市の膨大な謝金を健全財政の堺市が一緒に背負うことになります。

(2) 西林陣営

選挙確認団体の大阪維新の他、日本維新も西林を全面的に支援した。日本維新の平沼赳夫国会議員団代表は9月21日、所属の国会議員に対し最低3回の堺入りとスタッフ2人の派遣を要請した、全国から地方議員も駆けつけ、「議員、スタッフで1日平均40～50人は堺に入る」との報道もあった¹²。

西林の堺市選挙広報記載の選挙公約は生育・学職歴の外、次の通りである¹³。

大阪維新の会公認 西林克敏 43歳

OneOsaka! 維新・堺八策 ONEワン大阪で堺を元気に!

詳しくは西林克敏ホームページへアクセスして下さい! <http://24884.info>

真の「自由と自治のまち」„堺”を目指して。

- 1 大阪都の実現 広域行政の一元化
- 2 堺まちづくりグランドデザイン 都市再生・交通ネットワーク構築
- 3 区民主体のまちづくり 区長を選挙で選ぶ
- 4 堺経済の活性化 大阪都市圏一体での観光戦略
- 5 子育て世代の支援強化 習い事クーポンの実施
- 6 住民サポートの充実 高齢者サポートの拡充

7 教育改革 中学校給食の導入

8 行財政改革 機能する役所へ

(3) 竹山と大阪維新

前回市長選では、木原敬介が3選を目指して出馬し、自、公の推薦及び民、社民の支援を受けた。対して、竹山は無所属で立候補し、当時大阪府知事橋下の全面的支援を受けて当選した¹⁴。橋下は10年の大阪維新創設時から都構想を掲げた¹⁵。竹山は12年2月3日、大阪府と大阪堺両政令市を再編する都構想について松井府知事、橋下大阪市長と会談し、堺市の再編参加に必要な条例案の2月堺市会への提案を見送ると表明した。堺市の都構想からの事実上の離脱だった¹⁶。竹山は13年2月2日、堺市会本会議で市長選再出馬を声明した¹⁷。故に同年9月の市長選で大阪維新が候補を擁立する可能性は増した。

(4) 党派の勢力状況と「住みよい堺市をつくる会」

竹山の市長選再出馬声明前後の、①12年12月16日執行衆院総選挙比例代表選出議員選挙、②13年7月21日執行参院大阪府選出議員選挙、及び、③同日執行同院比例区選出議員選挙での、日本維新、民、公、共産党、みんな、自の各党又は各党候補者の得票数等を考慮すると¹⁸、大阪維新が堺市長候補を立て、かつ、他党派が竹山の他に候補を立てれば、その候補と竹山の共倒れの危険性、即ち、大阪維新候補当選の可能性が大きかった。

他方、共産党も加わる「住みよい堺市をつくる会」（つくる会）¹⁹は、前回市長選では独自候補を擁立した。その投票日前日、共産党参院議員山下芳生は、竹山が「橋下知事とともに大阪府でやってきたこと」を批判し、「こんな人物が市長になっても、堺市政の中身、逆立ちした税金の使い方を変えることはできません」と述べた²⁰。しかし、つくる会は13年8月2日、臨時総会を開き、市長選で「維新が候補を擁立するならば、堺市乗っ取り、廃止・解体を許さない立場で、現職の竹山修身市長を自主的に支持し、会として全力をあげる」との方針を確認した²¹。つくる会は当時、堺市内の共産党、大阪労連堺労働組合総連合傘下の労働組合、社会医療法人・同仁会、生活と健康を守る会、民主商工会、新日本婦人の会、保育運動連合会、年金者組合等の団体から成っていた。大阪維新が公認候補とする西林は8月12日、堺市役所で市長選出馬を正式に表明した²²。よって、つくる会は、竹山を自主的に支援した。つくる会は、市長選に際して9月1日、HPを開設した²³。共産党堺地区委員会はブログで、「『大阪都構想』から堺市を守る自由と自治・堺の会が『堺市ビジョン2013』（つく

る会 vision－筆者略記）をまとめ」たと記して、要点部分を紹介し、自由と自治・堺の会のブログへのリンクを示した²⁴。つくる会は運動組織、自由と自治・堺の会は政策提言組織だという²⁵。

つくる会 vision は約 8000 文字であり、その柱立ては、次の通りである²⁶。

つぶすな堺市 堺はひとつ 自治都市堺の現代的再生を市民の手で

みんなで力合わせて、大阪都構想からわがまち・堺市を守ろう！

堺市の税収（2008 年度決算 1324 億円）の 1/3 を大阪都が奪い取る

～これでは、市民サービスの維持も困難に～

主要な権限も大阪都がとりあげ

都に権限が移るもの：子ども相談所。障害者更生相談所。こころの健康相談センター。国道・府道の維持管理。街づくりの権限。教職員の採用と人事権。下水道事業全般。消防。

まちづくり 堺の特性を活かしたまちづくりへの転換！

福祉 いのちとくらしを第一にしたまちづくり

こども医療費助成制度が全国・大阪府でトップクラス 堺市は中学校卒業まで・所得制限なし

自治 自治都市の伝統ある堺を住民参加日本一のまちに！

区長準公選制の導入、区民会議と区役所の権限強化、小学校区単位で自治を支える仕組みの充実、予算編成段階の住民参加

産業 「堺はひとつの」の連携で地域的な経済の発展を

福祉・医療施策・施設の抜本的拡充により市内雇用者を増加、など

教育 堺の街が堺の子どもを育てます

(5)元堺市長・木原陣峯の動向 木原は、01 年堺市長選に無所属で出馬して当選し、再選を経て 06 年 4 月、堺の政令市移行を実現した。しかし、前記の通り、前回市長選では竹山に敗れた。木原は、その事務所内に「大阪・堺から地方自治を考える会」（考える会）を作った。会の大略は HP「よみがえれ！堺」及び同会編集発行図書『よみがえれ堺』で知り得る。同書で木原は、「市長交代後の堺市政を見ると、『政令市』の機能とリーダーシップが十分に発揮され、『堺』ははじめ、泉州や南河内地域・南大阪全体として大いなる発展を遂げているとは言えない」と竹山市政を批判している²⁷。木原は竹山及び大阪維新候補が立てば自身の当選は困難と見て市長選への立候補を見送ったと推測される。

同書の第 3 章 (3) は、木原市政下で教育長、副市長を歴任した高橋保が執筆

している²⁸。そこでは、木原市政下で始められた堺市の生活保護行政を紹介し一層発展させるべきだとされており竹山市政批判は見当たらない。高橋は、遡って12年3月18日開催の「フォーラム・堺市の未来と『大阪都構想』」に出席して、橋下大阪市長の都構想を批判した。このフォーラムは、堺市職員労働組合に事務所が置かれ、12年6月9日開催の第3回以後、「自由と自治・堺の会」の主催となった²⁹。つくる会は13年9月11日、竹山を支援する「堺を守ろう！大集会」を開催した。集会では共産党の山下が主演説を行い、ソレイユ堺市会議員山口典子、前記の静又三と高橋の3人がゲストとして登壇して竹山支援を訴えた。そこで高橋は「躊躇い、逡巡がありました。しかし、私は日本の歴史のターニングポイントになる市長選に勝利するために力をつくします」と述べた³⁰。

考える会は、竹山、西林のどちらにも与しなかったが、会と会作成のHPは、木原の堺市政への執着もあって竹山市政・堺市政を検証し続けるものと思われる³¹。

(二) 2013年市長選における教育政策

(1) 「堺市教育基本条例」案

竹山は、大阪維新の松井知事、橋下市長と違って、首長が現行法規・制度の枠を越えて教育委員会（教委）の権限に介入するような政策の提示・実施はしなかった。13年の竹山 vision では「地域に根差したきめ細かな教育を推進するため各区に公募委員も含めた「区教育審議会（準教育委員）」を設置します」とした³²。堺市教委は11年12月8日、「堺市教育基本条例案について」を発表し、大阪維新堺市会議員団提案の「堺市教育基本条例」案を「委員会として是認できるものではない」と表明した³³。堺市会の文教委員会は同日、同条例案を大阪維新、公の賛成、自、ソレイユ堺、共産党、無所属の反対で否決した³⁴。本会議も同条例案を大阪維新、公の賛成少数で否決した³⁵。

(2) 堺市教委の教育行政

堺市教育委員会の委員の定員は6であり、12年10月01現在、海部孝治委員長、内藤早苗委員長職務代理者ほか4名だった。木原が任命した芝村巧は5年間教育長を務めた。竹山は12年04月01、市職員木村正明を教育委員・教育長に任命した。木原が任命した他の教育委員は任期を全うし、又は竹山が再任した³⁶。教育行政の連続性と中立性、一般行政からの独立性は、相当に保たれて

きた。

市教委が11年2月14日に策定した「未来をつくる堺教育プラン」（H23～27年度）は、市政全般の基本方針である「さかい未来・夢コンパス」（2011～2020年度）と連携して市教育の基本方向を定めた。プランは教育基本法に基づく堺市教育振興基本計画でもある³⁷。

プランの特徴を挙げると次のようである。①教育理念を「豊かな心の人づくり」「確かな学びの形成」「ゆめをはぐくむ教育の推進」としている、②「それぞれの世界へはばたく"堺っ子"」という「めざす子ども像」の外、「めざす学校像」「めざす教員像」も掲げ、特に市の「学校教育を支える優秀な人材育成のため「堺・教師ゆめ塾」を設けるとしている³⁸、③「プラン推進の基本的視点」を「幼・保・小連携」「小中一貫教育（の）推進」等の「縦につながる教育」及び「学校・家庭・地域との協働による、地域協働型教育」という「横にひろがる教育」としている、④「13の基本施策」の中に、「総合的な学力」の育成、「すべての幼児を対象とした幼児教育」「ゆめを実現する高等学校教育」「自立をはぐくむ特別支援教育」「地域資源を活用した堺を知る教育」の推進、「安全・安心・うるおいのある教育環境づくり」等を掲げている。

（3）市長選における教育政策

次に、各陣営の教育政策の縮約を示す。

①**竹山 vision** ★堺の「自治」を守れ！ STOP!都構想 ○子育て・教育等の行政の堺市への一元化。○地域のことは地域で決め得るよう区の権限財源強化。新たに住民参加の準教育委員会を設置を順次設置。★堺・3つの挑戦子育てのまち堺。命の繋がりへの挑戦！ ○学力を府内トップレベルに。従来の放課後無料学習の全校実施とともに、小中一貫教育や英語・読書活動など学力向上を推進。○小中学校の全学年の普通教室にエアコンを導入。○保護者、生徒両方の意見を聴いてランチサポート事業を「第三の給食」とし、中学生に最適な昼食提供。○虐待・いじめ・体罰根絶のため、家庭・学校・地域・行政が連携する環境整備。○各区に公募委員を含む区教育審議会（準教育委員）を設置。○府内トップ水準の子ども医療費助成を継続。○泉北高速通学定期代負担軽減。

②**西林堺八策** ★堺市に特別区設置。住民選挙による区長及び区議議員が各区予算を編成。★中区、南区で通学定期券補助。東区で通学路安全確保。南区で駅前保育実現、教育機関誘致。北区で大学サテライト形成。★堺経済の活性化○教育機関の誘致。★子育て世代の支援強化 ○堺型幼保連携、保育ママ制

度、公立学校空き教室活用、保育所待機児童零実現。○中学3年迄子ども医療費助成維持。○コンビネーション遊具の設置。○教育バウチャー制度導入検討。
★「教育基本条例」制定。○市長と教育委員の協議教育による振興基本計画の教育目標制定。○保護者の意向を反映する学校運営協議会による教員評価。○全国学テの学校別結果公開。○公立小中一貫校拡充。○公立小中校での土曜授業検討、校長公募。○習熟度別学級編成。○通学区域の弾力化。○公立校全教室でエアコン整備。○全公立中への給食導入。○郷土祖国愛育成。

③つくる会 vision ○小中全校で当面35人学級実現。○500人以上不足の正規教員数大幅増。○老朽校舎耐震化。トイレ洋式化。○快適環境による学力向上。全校・教室にエアコン。○中学給食は絶対。食堂型で給食実施。○就学援助の大幅増額。○良いものは継承し更に発展。公立幼稚園、特別支援教育充実。○子どもたちに豊かな放課後の実現 のびのびルームの充実・発展。

なお、この vision は「堺市教育委員会は教育基本条例反対（H23年12月15日）」、「堺市議会で教育基本条例を否決（維新以外の全会派反対） H23年12月15日」を付記している。

④考える会 「堺の教育を考える会」執筆の『よみがえれ堺』第3章「未来をつくる堺の教育行政」は、竹山 vision が学テ府内最高水準の達成ばかりをめざす危険性を指摘している外は、「少子化の抑制」さらには「子どもを増やす」という視点（の）必要性」を説く等、市と市教委の教育政策を励ましている。

注

¹ 本稿では、年は原則として西暦下2桁で示す。平成年の場合は頭にHを付す。年月日は紛れのない場合、年を略す。多用する語は、本文2行目の「大阪維新の会」（大阪維新）のように、初出直後の丸括弧内に示す略記を用いる。

² 資料源：堺市選挙管理委員会（堺選管）「開票速報 平成25年9月29日執行堺市長選挙確定」、http://sakaisenkyo.jp/data/kaihyo_data_10.html 13/10/16。以後、この例のように、webサイト後の半角空白後のyw/mn/deでそのサイトの確認年月日yw年mn月de日を示す。

³ 資料源：朝日新聞10月28日。

⁴ 共同代表：石原慎太郎、橋下徹。12年9月28日、設立。

⁵ 堺市選挙管理委員会「平成21年9月27日執行堺市長選挙選挙公報」。

⁶ 竹山おさみ連合後援会（竹山後援会）ホームページ：

<http://takeyama-osami.jp/> 10/25。

⁷ 10/25、竹山後援会事務局への電話での聞き取り。

8

http://takeyama-osami.jp/wp-content/themes/default/pdf/takeyama_manifesto130831.pdf 10/25。

⁹ 「堺はひとつ！市民の会」について、同会 HP：<http://www.sakai-hitotsu.org/> 13/10/25。

¹⁰ 同会「発起人一覧」<http://www.sakai-hitotsu.org/hokkinin.html> 13/10/25。

¹¹ 各新聞・テレビ・ネット等の情報を総合。資料源は煩多になるので省略。
なお、公職選挙法（昭 25 法 100）には「推薦」「支持」の語があり「支援」の語はない。紛れを避けるには「自主的支持」より「自主的支援」を用いる方が適切と考える。

¹² 長野佑介・神志那諒「都構想戦術に色濃く 堺市長選」朝日新聞 9 月 22 日。

¹³ 前出、堺選管選挙公報。

¹⁴ 以後、自民党、公明党、民主党を「自」、「公」、「民」と略記する。

¹⁵ ウィキペディア「大阪維新の会」、13 年 12 月日記事：
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%98%AA%E7%B6%AD%E6%96%B0%E3%81%AE%E4%BC%9A#cite>

¹⁶ yahoo ブログ：<http://blogs.yahoo.co.jp/bmb2mbf413/37815173.html> 2012/2/7（火）午前 1:08 掲載記事「大阪都抗争（市闘編）／堺に伏兵あり」（13 年 2 月 19 日）。

¹⁷ 13 年 2 月 19 日「堺市議会 会議録検索システム」で簡易検索し、「出馬」検索結果の内の「平成 25 年第 1 回定例会－02 月 22 日-02 号」で 10 月 31 確認。

¹⁸ 例：堺選管 <https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/sonota/senkyo> 10/31 で各得票を比較できる。

¹⁹ 住みよい堺市をつくる会の HP は、<http://sumiyoisakai.net/education.html> 13/12/10）。

²⁰ 山 下 の ブ ロ グ 、
<http://www.yamashita-yoshiki.jp/column/column/1253965510.html> 12/10。

²¹ 『赤旗』8 月 4 日、

http://www.jcp.or.jp/akahata/aik13/2013-08-04/2013080402_02_1.html 10/25。

²² 産経ニュース関西版 13年8月12日、資料源：

http://sankei.jp.msn.com/west/west_affairs/news/130812/waf13081211500008-n1.htm 10/25。

²³ <http://sumiyoisakai.net/> 10/25。

²⁴ 共産党堺地区委員会、<http://jcp-sakai.jp/blog.cgi?viewDetailed=00065> 10/25。

²⁵ 10月25日、共産党堺地区委員会への電話での聞き取り。

²⁶ つくる会のブログ：<http://sakaiwahitotsu.blog.fc2.com/blog-entry-35.html> 10/25は、つくる会 vision の1頁、6～10頁を掲載した。

²⁷ 会のHP「よみがえれ！堺」は、<http://www.yomigaere-sakai.jp/> 13/11/12。『よみがえれ堺』は、13年7月にんげん出版発売。引用は6頁、会の所在は奥付による。

²⁸ 堺市職員労働組合編著『堺市職員労働組合50年』96年発行57頁の高橋「その時私は」によると、高橋は77～79年頃、その職員支部委員長を務めた。

²⁹ 12年3月18日開催のフォーラムのまとめは、同年6月9日のフォーラムで配布された。

³⁰ 中村正男「1500人の歴史的な連帯の輪」

https://www.facebook.com/masao.nakamura.948/media_set?set=a.549351335117931.1073 10/25。

³¹ 会のHPに「ニュース」「意見・主張」「資料室」及び表「竹山市政の検証市長選挙時の『47項目の緊急提言施策』と『マニフェスト60』の比較検証」：

<http://www.yomigaere-sakai.jp/wp-content/themes/sakai/data/manifesto-kenshou.pdf> 13/10/25 が在る。

³² 竹山 vision 中の「堺・3つの挑戦」の「1. 子育てのまち堺」における記述。

³³ しかし、市教委会議録にこの発表に関する記載は無い。この発表は、筆者が一旦堺市HPで確認しfileに保存したが、その後、堺市HPから消えた。幸い、Nobuaki Ikedaの「維新教育基本条例案堺市議会委員会でも否決 教育委員会も明確に反対」（11/12/10）が、筆者が保存したのと同文の発表を記している。資料源：http://heiwayutaka.blogspot.jp/2011/12/blog-post_825.html 13/12/20。

³⁴ 委員会議事録－12月08日-01号、P.427～P.486、「議員提出議案第34号」
審議。

³⁵ 堺市議会議事録、平成23年第5回定例会12月15日-05号。うち採決は
P.400。

³⁶ 堺市、
<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/kyoiku/torikumi/shiryo/yoran/gyosei1.html>
12/28。

³⁷ 堺市、
http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kyoiku/kyoiku_plan.html 12/25。

38

<http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/kyoiku/boshu/kyoshokuinboshu/yumejuku/index.html> 12/28 及び <http://www.sakai.ed.jp/weblog/data/sakai157/g/m/776192.pdf>
13/12/29 はゆめ塾を紹介している。